

5 各種属性別の生活時間

(1) 夫と妻の生活時間

共働きか否かで大きく異なる妻の生活時間

「夫婦のみの世帯」、「夫婦と子供の世帯」、「夫婦と両親の世帯」、「夫婦とひとり親の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」の各世帯の妻の生活時間（週全体）を共働きか否かの別にみると、「共働き世帯」（夫も妻も有業の世帯）の妻は、1次活動時間が10時間2分、2次活動時間が9時間5分、3次活動時間が4時間53分であるのに対し、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は、それぞれ10時間18分、7時間4分、6時間37分となっており、「共働き世帯」の妻は、2次活動時間が2時間1分長く、逆に1次活動時間が16分、3次活動時間が1時間44分短くなっている。

2次活動時間のうち仕事時間と家事関連時間の合計時間をみると、「共働き世帯」の妻は8時間41分、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は7時間2分で、「共働き世帯」の妻が1時間39分長くなっている。

「共働き世帯」の妻の生活時間を世帯の家族類型別にみると、仕事時間は、「夫婦と両親の世帯」の妻が5時間17分と最も長く、「夫婦と子供の世帯」の妻が4時間12分と最も短くなっている。また、家事関連時間は、「夫婦と子供の世帯」の妻が4時間37分と最も長く、「夫婦のみの世帯」の妻が3時間18分と最も短くなっている。

平成8年と比較すると、「共働き世帯」の妻は、1次活動時間が3分、2次活動時間が19分減少、3次活動時間が21分増加し、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は、1次活動時間が3分、2次活動時間が5分減少し、3次活動時間が7分増加している。「共働き世帯」の妻の2次活動時間の減少は、主に仕事時間の減少によるものであり、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻の2次活動時間の減少は、主に家事関連時間の減少によるものとなっている。（表5-1，図5-1）

妻が無業の世帯で長い夫の家事関連時間

夫の生活時間を共働きか否かの別にみると、「共働き世帯」の夫は、1次活動時間が10時間14分、2次活動時間が8時間10分、3次活動時間が5時間36分となっている。また、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫は、それぞれ10時間15分、8時間17分、5時間28分となっており、「共働き世帯」と比較すると、1次活動時間はほぼ同じであるが、2次活動時間は7分長く、3次活動時間は8分短くなっている。

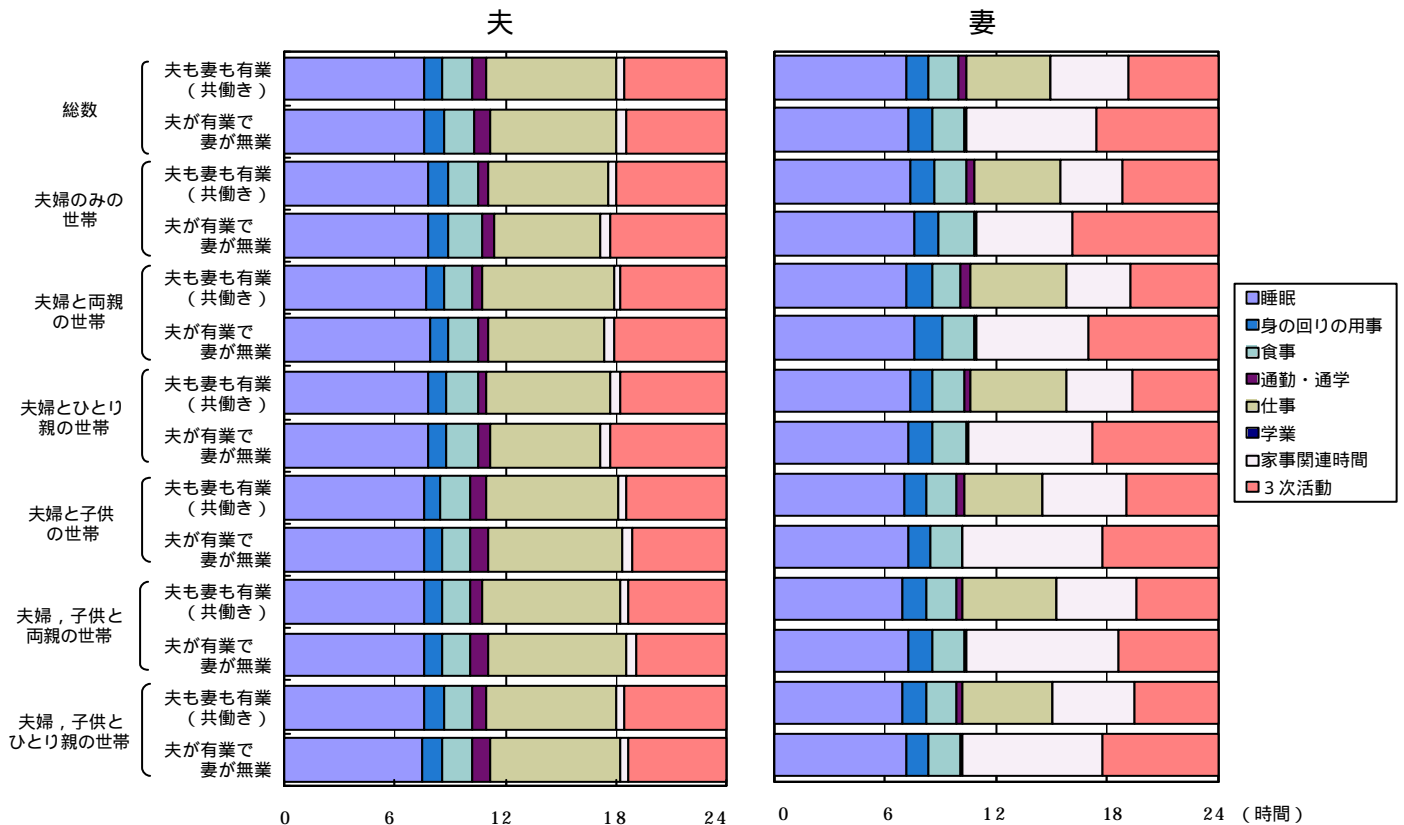
2次活動時間のうち家事関連時間についてみると、「共働き世帯」の夫は25分であるのに対し、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫は32分と長くなっている。（表5-1，図5-1）

表5 - 1 共働きか否か別夫と妻の生活時間 - 週全体

(時間・分)

	夫も妻も有業(共働き)の世帯				夫が有業で妻が無業の世帯			
	平成8年		平成13年		平成8年		平成13年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
1次活動	10.14	10.05	10.14	10.02	10.16	10.21	10.15	10.18
睡眠	7.41	7.10	7.37	7.08	7.40	7.19	7.37	7.18
身の回りの用事	0.56	1.14	1.00	1.16	0.58	1.14	1.01	1.16
食事	1.37	1.40	1.37	1.38	1.39	1.49	1.37	1.45
2次活動	8.23	9.24	8.10	9.05	8.18	7.09	8.17	7.04
通勤・通学	0.44	0.26	0.44	0.25	0.57	0.00	0.53	0.01
仕事	7.18	4.47	7.01	4.29	6.55	0.05	6.51	0.03
家事関連時間	0.21	4.10	0.25	4.12	0.26	7.05	0.32	6.59
3次活動	5.23	4.32	5.36	4.53	5.26	6.30	5.28	6.37
休養等自由時間活動	3.23	2.54	3.30	3.00	3.21	3.56	3.21	3.51
積極的自由時間活動	0.53	0.34	0.58	0.42	0.55	0.59	0.58	1.05
交際・付き合い	0.24	0.19	0.21	0.19	0.23	0.29	0.19	0.28

図5 - 1 世帯の家族類型, 共働きか否か別夫と妻の生活時間 - 週全体



自由に使える時間が短い「週間就業時間 35 時間以上」の妻

夫も妻も雇用者である「夫婦と子供の世帯」について、妻の週間就業時間別に夫と妻の生活時間をみると、妻の生活時間は、1次活動時間に大きな差はみられないが、2次活動時間は、週間就業時間が35時間以上の妻の方が1時間18分長くなっている。このうち、仕事時間は「35時間以上」の妻の方が2時間19分長く、逆に家事関連時間は「35時間未満」の妻の方が1時間12分長くなっている。3次活動時間は、「35時間未満」の妻の方が1時間15分長くなっている。

また、夫について2次活動時間をみると、妻の週間就業時間によってあまり差はないが、このうち、家事関連時間は、妻の週間就業時間が35時間以上の世帯の夫の方が妻の週間就業時間が35時間未満の世帯の夫より14分長くなっている。3次活動時間は、「35時間未満」の世帯の夫の方が5分長くなっている。

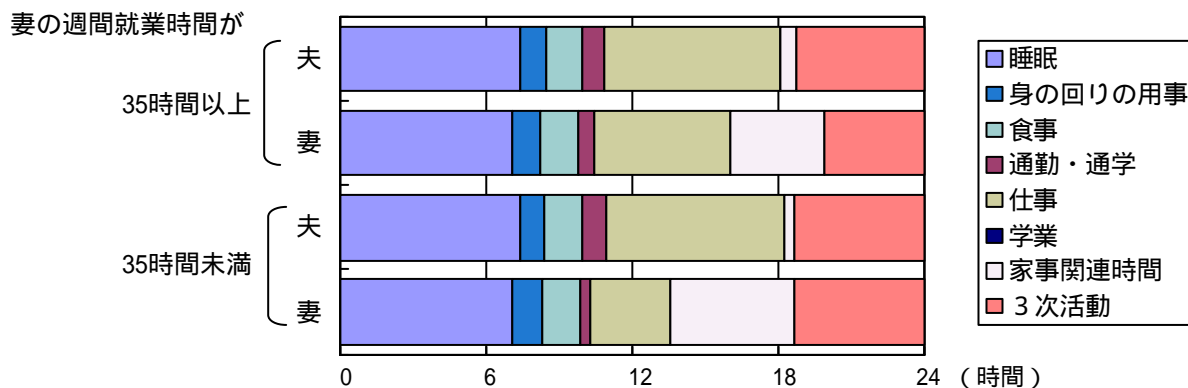
2次活動時間のうち仕事時間と家事関連時間の合計時間をみると、妻の週間就業時間が35時間以上の世帯の夫が7時間50分、妻が9時間26分、妻の週間就業時間が35時間未満の世帯の夫が7時間41分、妻が8時間19分と、いずれの世帯も妻の方が長くなっているが、特に「35時間以上」の世帯の妻は、「35時間以上」の世帯の夫に比べて1時間36分長く、「35時間未満」の妻と比べても1時間7分長くなっている。(表5-2, 図5-2)

表5-2 妻の週間就業時間別夫と妻の生活時間(夫婦と子供の世帯) - 週全体

	夫も妻も雇用者							
	妻の週間就業時間が35時間未満				妻の週間就業時間が35時間以上			
	平成8年		平成13年		平成8年		平成13年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
1次活動	10.01	9.54	9.55	9.53	10.07	9.52	10.01	9.48
睡眠	7.34	7.04	7.26	7.03	7.40	7.05	7.27	7.04
身の回りの用事	0.54	1.12	0.57	1.14	0.55	1.14	1.01	1.12
食事	1.33	1.38	1.33	1.36	1.33	1.34	1.32	1.32
2次活動	8.35	8.57	8.44	8.47	8.38	10.15	8.43	10.05
通勤・通学	0.59	0.27	1.02	0.26	0.55	0.37	0.54	0.39
仕事	7.17	3.24	7.19	3.17	7.17	5.51	7.14	5.36
家事関連時間	0.20	5.07	0.22	5.02	0.27	3.47	0.36	3.50
3次活動	5.24	5.09	5.21	5.21	5.14	3.53	5.16	4.06
休養等自由時間活動	3.21	3.18	3.17	3.16	3.23	2.32	3.16	2.33
積極的自由時間活動	0.54	0.36	1.00	0.45	0.53	0.26	0.55	0.32
交際・付き合い	0.22	0.21	0.20	0.22	0.21	0.15	0.18	0.14

図5-2 妻の週間就業時間別夫と妻の生活時間

(夫婦と子供の世帯 - 夫も妻も雇用者) - 週全体



就業状態と親との同居で異なる妻の育児時間

「夫婦と子供の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」について、末子の年齢別に妻の有業率をみると、末子の年齢が0歳で22.2%、1～2歳で29.1%、3～5歳で48.6%と末子の年齢が高くなるに従って有業率も上昇し、10～14歳では73.8%となっている。また、親のいる世帯の妻は、「夫婦と子供の世帯」の妻に比べて有業率が高くなっている。

(表5-3)

表5-3 末子の年齢別妻の有業率

末子の年齢	有業者数(千人)				有業率(%)			
	総数	夫婦と子供の世帯	夫婦、子供と両親の世帯	夫婦、子供とひとり親の世帯	総数	夫婦と子供の世帯	夫婦、子供と両親の世帯	夫婦、子供とひとり親の世帯
妻	10510	8068	1032	1410	57.3	54.2	74.1	69.2
うち0歳	218	168	22	28	22.2	19.6	33.8	45.2
1～2歳	546	450	58	37	29.1	27.6	41.1	34.6
3～5歳	975	758	124	93	48.6	45.8	62.0	61.2
6～9歳	1385	1045	200	140	63.9	61.7	78.1	64.5
10～14歳	2012	1443	267	302	73.8	71.3	84.2	78.6

「夫婦と子供の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」、「夫婦、子供とひとり親の世帯」の世帯の合計

末子の年齢別に夫と妻の育児時間をみると、妻の育児時間は、末子の年齢が低いほど長く、0歳では最も長くなっており、逆に末子が学齢に達すると大幅に短くなっている。一方、夫の育児時間は、妻と同様に末子の年齢が低いほど長くなっているが、妻に比べると大幅に短くなっている。

「夫婦と子供の世帯」及び「夫婦、子供と両親の世帯」の妻について、ふだんの就業状態別に妻の育児時間をみると、妻が有業の場合、末子の年齢が3歳未満では「夫婦、子供と両親の世帯」の方が「夫婦と子供の世帯」より長く、3歳以上では「夫婦と子供の世帯」の方が長くなっている。一方、妻が無業の場合は、末子の年齢にかかわらず、「夫婦、子供と両親の世帯」の育児時間が長くなっている。(表5-4)

表5-4 世帯の家族類型、末子の年齢別夫と妻の育児時間及び

その他の家事関連時間 - 週全体

(時間・分)

世帯の家族類型、末子の年齢	夫		妻			
	有業者		有業者		無業者	
	育児時間	その他の家事関連時間	育児時間	その他の家事関連時間	育児時間	その他の家事関連時間
夫婦と子供の世帯						
0歳	0.39	0.25	4.09	3.59	5.23	4.25
1～2歳	0.29	0.24	2.13	3.17	3.49	5.00
3～5歳	0.14	0.22	1.08	4.06	2.03	5.37
6～9歳	0.04	0.21	0.23	4.29	0.43	6.08
10～14歳	0.01	0.19	0.05	4.36	0.10	7.04
夫婦、子供と両親の世帯						
0歳	0.29	0.14	4.12	3.02	5.58	4.21
1～2歳	0.27	0.18	2.30	3.16	4.17	4.44
3～5歳	0.11	0.16	1.03	3.38	2.08	5.41
6～9歳	0.03	0.17	0.19	3.46	0.52	7.08
10～14歳	0.01	0.18	0.04	4.16	0.11	7.41
夫婦、子供とひとり親の世帯						
0歳	0.19	0.16	4.47	3.29	4.40	4.56
1～2歳	0.37	0.18	2.29	3.32	3.59	5.08
3～5歳	0.13	0.22	0.54	3.36	2.01	6.13
6～9歳	0.02	0.18	0.22	4.32	0.29	7.30
10～14歳	0.01	0.20	0.03	4.19	0.08	7.30

「家事」、「介護・看護」、「買い物」の合計時間

延長保育又は預かり保育を利用している妻は仕事時間が長い

「夫婦と子供の世帯」の6歳未満の子供がいる有業の妻について、子供の保育の状況別に行動者平均時間をみると、保育所（園）又は幼稚園に在園する子供がいない妻は、育児時間が3時間44分、その他の家事関連時間が6時間31分と、在園する子供がいる妻に比べて長くなっている。

保育所（園）又は幼稚園に在園する子供がいる妻について、延長保育又は預かり保育の利用の状況別に行動者平均時間をみると、延長保育又は預かり保育を利用している妻は、利用していない妻に比べて、仕事時間は1時間10分程度長くなっているが、3次活動時間はおおむね30分以上短くなっている。

また、6～9歳の子供がいる有業の妻について、学童保育の利用の状況別に行動者平均時間をみると、学童保育を利用している妻は、利用していない妻に比べて、仕事時間が1時間程度長くなっている。（表5-5）

表5-5 子供の保育の状況別夫と妻の行動者平均時間

（夫婦と子供の世帯 - 有業の夫・妻） - 週全体

（時間・分）

	6歳未満の子供がいる					6～9歳の子供がいる				
	保育所（園）又は幼稚園に在園する子供がいない	保育所（園）又は幼稚園に在園する子供がいる				小学校に在学する子供がいない	小学校に在学する子供がいる			
		1人いる		2人以上いる			1人いる		2人以上いる	
		延長保育又は預かり保育を利用している	延長保育又は預かり保育を利用していない	全員が延長保育又は預かり保育を利用している	全員が延長保育又は預かり保育を利用していない		学童保育を利用している	学童保育を利用していない	全員が学童保育を利用している	全員が学童保育を利用していない
夫										
1次活動	9.58	10.05	10.01	10.20	10.01	10.01	9.52	9.56	10.43	9.43
睡眠	7.30	7.34	7.33	7.48	7.43	7.27	7.31	7.25	7.50	7.12
2次活動	9.54	9.37	9.42	10.12	9.27	9.35	9.29	9.33	9.14	9.52
通勤・通学	1.14	1.15	1.18	1.18	0.59	1.19	1.13	1.19	1.19	1.21
仕事	9.35	9.22	9.21	9.05	9.30	9.16	9.14	9.13	8.55	9.34
育児	1.40	1.31	1.29	1.46	1.20	1.39	1.10	1.26	1.03	1.11
その他の家事関連時間	3.17	3.24	3.30	3.41	4.36	4.33	5.27	4.41	2.56	3.44
3次活動	4.39	4.56	4.52	4.24	5.21	5.01	5.24	5.11	4.35	5.05
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.24	2.25	2.23	2.05	2.34	2.34	2.28	2.29	2.27	2.25
休養・くつろぎ	1.40	1.42	1.41	1.42	1.35	1.38	1.55	1.42	1.44	1.28
妻										
1次活動	10.09	10.09	10.10	10.34	10.18	10.04	10.05	9.48	10.19	9.41
睡眠	7.26	7.26	7.21	7.42	7.28	7.21	7.23	7.02	7.28	7.08
2次活動	9.37	10.02	9.27	10.42	9.41	9.40	9.49	9.17	10.22	8.55
通勤・通学	0.50	0.58	0.51	1.01	0.44	0.50	0.59	0.43	0.46	0.49
仕事	5.48	6.37	5.24	6.52	5.45	5.53	6.19	5.20	6.28	5.13
育児	3.44	2.03	2.24	2.42	2.33	2.04	1.56	1.48	1.19	1.37
その他の家事関連時間	6.31	5.11	5.32	5.03	4.59	5.59	6.10	6.07	4.39	7.07
3次活動	4.33	4.07	4.36	3.02	4.16	4.40	4.19	5.01	3.45	5.32
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.22	1.48	2.01	1.37	1.54	2.01	1.58	2.12	1.50	2.18
休養・くつろぎ	1.30	1.23	1.30	1.34	1.43	1.25	1.31	1.27	1.21	1.35

「家事」、「介護・看護」、「買い物」の合計時間

(2) 介護をしている人の生活時間

ふだん家族を介護している人¹⁾の介護・看護時間（行動者平均時間）は2時間35分

15歳以上の人のうち、ふだん家族を介護している人は約470万人（15歳以上人口に占める割合は4.4%）、男性は約172万人（同3.3%）、女性は約298万人（同5.4%）となっており、女性の方が多くなっている。

このうち、ふだん65歳以上の家族を介護している人は約368万人で、ふだん家族を介護している人の約4分の3を占めている。また、ふだん65歳以上の家族を介護している人のうち、有業者は約216万人、無業者は約151万人となっている。

これを平成8年と比較すると、ふだん家族を介護している人は約100万人の増加（増加率27.0%）、ふだん65歳以上の家族を介護している人は約82万人の増加（同28.8%）となっている。（表5-6）

表5-6 ふだん家族を介護している人（15歳以上）（千人）

	平成8年			平成13年		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	3702 (3.6)	1353 (2.7)	2349 (4.4)	4702 (4.4)	1721 (3.3)	2982 (5.4)
65歳以上の家族を介護	2857 (2.7)	1085 (2.1)	1772 (3.3)	3680 (3.4)	1370 (2.6)	2310 (4.2)
有業者	1793 (1.7)	890 (1.8)	903 (1.7)	2159 (2.0)	1008 (1.9)	1151 (2.1)
自宅内で	1057 (1.0)	519 (1.0)	537 (1.0)	1309 (1.2)	629 (1.2)	680 (1.2)
自宅外で	753 (0.7)	378 (0.7)	375 (0.7)	882 (0.8)	395 (0.8)	487 (0.9)
無業者	1061 (1.0)	193 (0.4)	869 (1.6)	1514 (1.4)	357 (0.7)	1158 (2.1)
自宅内で	724 (0.7)	144 (0.3)	580 (1.1)	998 (0.9)	247 (0.5)	751 (1.4)
自宅外で	345 (0.3)	50 (0.1)	295 (0.6)	542 (0.5)	112 (0.2)	429 (0.8)
その他の家族を介護	907 (0.9)	286 (0.6)	620 (1.2)	1079 (1.0)	363 (0.7)	716 (1.3)

()内は15歳以上人口に占める割合(%)

ふだん家族を介護している人の介護・看護時間をみると、ふだん家族を介護している人全体の平均時間（総平均時間）は50分、このうち、調査当日に実際に家族の介護・看護を行った人の平均時間（行動者平均時間）は2時間35分となっており、平成8年と比較すると、総平均時間は7分、行動者平均時間は25分減少している。

これを男女別にみると、男性は総平均時間が29分、行動者平均時間が2時間19分、女性はそれぞれ1時間2分、2時間39分となっており、女性が男性を総平均時間で33分、行動者平均時間で20分上回っている。

このうち、65歳以上の家族を介護している人の介護・看護時間をみると、男性は総平均時間が28分、行動者平均時間が2時間21分、女性はそれぞれ1時間3分、2時間36分となっている。

(表5-7)

表5-7 介護・看護時間（ふだん家族を介護している15歳以上の人）- 週全体

(時間・分)

	総平均時間			行動者平均時間		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	0.50 (-0.07)	0.29 (-0.01)	1.02 (-0.11)	2.35 (-0.25)	2.19 (-0.27)	2.39 (-0.25)
65歳以上の家族を介護	0.50 (-0.05)	0.28 (0.01)	1.03 (-0.10)	2.33 (-0.22)	2.21 (-0.19)	2.36 (-0.23)
有業者	0.30 (-0.01)	0.16 (0.01)	0.42 (-0.05)	2.04 (-0.15)	1.48 (-0.08)	2.10 (-0.18)
自宅内で	0.28 (-0.06)	0.14 (-0.02)	0.40 (-0.12)	1.43 (-0.27)	1.32 (-0.17)	1.47 (-0.31)
自宅外で	0.33 (0.07)	0.18 (0.04)	0.45 (0.07)	2.47 (0.09)	2.30 (0.12)	2.55 (0.07)
無業者	1.19 (-0.16)	1.03 (-0.11)	1.24 (-0.16)	2.54 (-0.26)	2.59 (-0.17)	2.54 (-0.27)
自宅内で	1.22 (-0.14)	1.04 (-0.12)	1.28 (-0.13)	2.41 (-0.24)	2.55 (-0.27)	2.39 (-0.25)
自宅外で	1.14 (-0.18)	0.58 (-0.17)	1.18 (-0.18)	3.25 (-0.38)	3.09 (-0.37)	3.28 (-0.38)
その他の家族を介護	0.50 (-0.14)	0.30 (-0.09)	1.01 (-0.15)	2.43 (-0.38)	2.16 (-0.43)	2.51 (-0.36)

()内は平成8年との増減

¹⁾1年間に30日以上介護していれば「ふだん介護をしている」とする。

介護をしている人、特に女性は家事時間が長く、3次活動時間が短い

ふだん家族を介護している人の生活時間をふだん家族を介護していない人と比較すると、ふだん家族を介護している人の生活時間は、家事時間で男性が19分、女性が45分、介護・看護時間で男性が29分、女性が1時間、それぞれ長くなっている。

逆に、睡眠時間で男性が5分、女性が16分、仕事時間で男性が23分、女性が22分、学業時間で男性が16分、女性が15分、それぞれ短くなっている。また、3次活動時間についても、男性が9分、女性が38分短く、特に女性は、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が15分、「休養・くつろぎ」の時間が13分短くなっている。

このように、ふだん家族を介護している人の生活時間は、男女とも、家事時間と介護・看護時間が長く、仕事時間と3次活動時間が短くなっているが、その差は女性において顕著である。

(表5 - 8)

表5 - 8 介護の有無別生活時間(15歳以上) - 週全体

	(時間・分)			
	男		女	
	ふだん 家族を介護 していない	ふだん 家族を介護 している	ふだん 家族を介護 していない	ふだん 家族を介護 している
1次活動	10.28	10.35	10.41	10.28
睡眠	7.50	7.45	7.36	7.20
身の回りの用事	1.02	1.07	1.23	1.23
食事	1.36	1.42	1.41	1.45
2次活動	6.55	6.56	7.01	7.52
通勤・通学	0.42	0.35	0.22	0.14
仕事	5.15	4.52	2.37	2.15
学業	0.27	0.11	0.23	0.08
家事	0.13	0.32	2.40	3.25
介護・看護	0.00	0.29	0.02	1.02
育児	0.04	0.03	0.23	0.12
買い物	0.14	0.15	0.35	0.36
3次活動	6.37	6.28	6.18	5.40
移動(通勤・通学を除く)	0.32	0.34	0.33	0.36
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.40	2.40	2.29	2.14
休養・くつろぎ	1.18	1.21	1.21	1.08
学習・研究(学業以外)	0.12	0.11	0.11	0.08
趣味・娯楽	0.49	0.40	0.35	0.27
スポーツ	0.13	0.11	0.08	0.08
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.06	0.05	0.06
交際・付き合い	0.26	0.21	0.28	0.25
受診・療養	0.07	0.09	0.10	0.09
その他	0.15	0.16	0.18	0.19

介護支援の利用の状況によって異なる介護・看護時間

ふだん家族を介護している人の介護・看護時間を、介護支援の利用の状況別にみると、総平均時間では、介護支援を利用していない人が44分、介護支援を利用している人が1時間7分と、介護支援利用者の介護・看護時間が長くなっているが、行動者平均時間では、それぞれ2時間34分、2時間38分と、介護支援の利用の有無による大きな差はみられない。

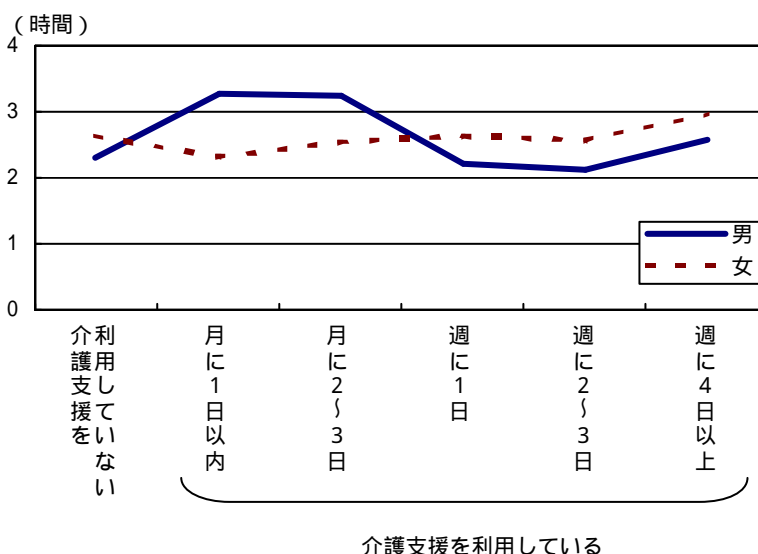
さらに、介護支援を利用している人について、利用の頻度別に行動者平均時間をみると、週に4日以上利用している人が2時間50分と最も長くなっているが、次いで月に1日以内の人が2時間46分と長く、週に2～3日までは、利用頻度が多くなるにつれて介護・看護時間が短くなっている。

これを男女別にみると、介護・看護時間は、男性は月に1日以内の人と月に2～3日以内の人が3時間15分以上と長くなっているが、女性は月に1日以内の人が2時間19分と最も短く、週に4日以上の人が2時間58分と最も長くなっている。(表5-9, 図5-3)

表5-9 介護支援の利用の状況別介護・看護時間(ふだん家族を介護している人) - 週全体

	総平均時間			行動者平均時間		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	0.50	0.29	1.02	2.35	2.19	2.39
介護支援を利用していない	0.44	0.25	0.54	2.34	2.18	2.38
介護支援を利用している	1.07	0.38	1.25	2.38	2.23	2.43
月に1日以内	1.19	1.25	1.14	2.46	3.17	2.19
月に2～3日	1.13	0.49	1.26	2.35	3.15	2.33
週に1日	1.00	0.28	1.19	2.34	2.12	2.38
週に2～3日	0.57	0.27	1.14	2.27	2.07	2.34
週に4日以上	1.20	0.50	1.49	2.50	2.35	2.58

図5-3 介護支援の利用の状況別介護・看護の行動者平均時間(ふだん家族を介護している人) - 週全体



(3) 高齢者の生活時間

「睡眠」と「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が長い高齢者

65歳以上の高齢者の1日の生活時間をみると、1次活動時間は11時間49分と、10歳以上全体の平均よりも1時間13分長くなっている。内訳をみると、睡眠時間が8時間30分、食事時間が1時間57分と、全体の平均と比べて、それぞれ45分、19分長くなっている。

2次活動時間は3時間49分と、全体の平均よりも3時間7分短くなっている。内訳をみると、通勤・通学時間が26分、仕事時間が2時間19分、学習時間が40分、それぞれ短くなっているが、逆に家事関連時間は19分長くなっている。家事関連時間を男女別にみると、女性は3時間30分と、全体の平均とあまり差はないが、男性は57分と、26分長くなっている。

3次活動時間は8時間22分と、全体の平均よりも1時間54分長くなっている。内訳をみると、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が3時間53分、「休養・くつろぎ」の時間が1時間48分、「受診・療養」の時間が23分と、全体の平均と比べてそれぞれ1時間21分、28分、15分長くなっている。(表5-10)

表5-10 高齢者の生活時間 - 週全体

	(時間・分)					
	総数		男		女	
	10歳以上	65歳以上	10歳以上	65歳以上	10歳以上	65歳以上
1次活動	10.36	11.49	10.30	11.48	10.42	11.50
睡眠	7.45	8.30	7.52	8.37	7.38	8.24
身の回りの用事	1.13	1.22	1.02	1.13	1.23	1.29
食事	1.38	1.57	1.36	1.58	1.41	1.57
2次活動	6.56	3.49	6.51	3.06	7.01	4.21
通勤・通学	0.31	0.05	0.41	0.09	0.22	0.02
仕事	3.39	1.20	4.56	2.01	2.27	0.49
学業	0.40	0.00	0.43	0.00	0.37	0.00
家事関連時間	2.05	2.24	0.31	0.57	3.34	3.30
3次活動	6.28	8.22	6.39	9.06	6.17	7.49
移動(通勤・通学を除く)	0.32	0.26	0.32	0.29	0.33	0.25
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.32	3.53	2.38	4.19	2.26	3.33
休養・くつろぎ	1.20	1.48	1.19	1.47	1.21	1.48
学習・研究(学業以外)	0.14	0.06	0.14	0.09	0.13	0.04
趣味・娯楽	0.42	0.45	0.50	0.55	0.35	0.38
スポーツ	0.13	0.13	0.16	0.18	0.10	0.09
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.06	0.04	0.07	0.05	0.05
交際・付き合い	0.26	0.23	0.25	0.20	0.27	0.25
受診・療養	0.08	0.23	0.07	0.22	0.10	0.23
その他	0.16	0.21	0.14	0.22	0.18	0.20

1日のうち20時間36分を一人で過ごす単身高齢者

65歳以上の高齢者の生活時間を一緒にいた人（複数回答）別にみると、1日のうち、一人でいた時間は14時間54分（睡眠時間8時間30分を含む。）と、10歳以上の全体の平均と比べて2時間5分長くなっている。また、家族と一緒にいた時間がある高齢者は83.7%と、全体の平均と比べて2.0ポイント低くなっているが、その平均時間は8時間29分と、全体の平均より1時間45分長くなっている。

65歳以上の高齢者のうち単身高齢者は、一人でいた時間が20時間36分（睡眠時間8時間27分を含む。）となっており、一人で過ごす時間が大幅に長くなっている。また、家族と一緒にいた時間がある単身高齢者は15.9%、その平均時間は4時間53分となっている。（表5-11）

表5-11 一緒にいた人別生活時間（65歳以上）- 週全体

（時間・分，％）

	一人で		睡眠		家族		学校・職場の人		その他の人	
	行動者平均時間	行動者率	行動者平均時間	行動者率	行動者平均時間	行動者率	行動者平均時間	行動者率	行動者平均時間	行動者率
10歳以上										
総数	12.49	100.0	7.45	99.9	6.44	85.7	8.26	48.0	4.06	32.2
男	12.31	100.0	7.53	99.9	5.51	84.2	9.02	57.7	4.21	28.4
女	13.05	100.0	7.39	100.0	7.33	87.2	7.36	38.7	3.55	35.8
65歳以上										
総数	14.54	100.0	8.30	100.0	8.29	83.7	6.00	9.0	3.53	35.4
男	13.59	100.0	8.37	100.0	8.41	89.6	6.43	13.2	4.06	31.2
女	15.35	100.0	8.24	100.0	8.18	79.3	4.49	5.9	3.45	38.5
うち単身世帯										
総数	20.36	100.0	8.27	99.9	4.53	15.9	6.24	7.6	3.44	51.4
男	20.26	100.0	8.38	100.0	4.49	16.1	7.03	11.0	4.02	40.8
女	20.39	100.0	8.24	99.9	4.55	15.8	6.05	6.5	3.40	54.6

子供と離れて住むほど一人で過ごす時間が長くなる単身高齢者

子供のいる65歳以上の単身高齢者が家族と一緒にいた時間をみると、1日のうち、家族と一緒にいた時間がある人は、子供が同一敷地内に住んでいる場合で43.7%、近所に住んでいる場合で28.8%、同一市町村内に住んでいる場合で17.5%、他の地域に住んでいる場合で9.9%となっており、子供が同一敷地内に住んでいる場合でも、約半数の単身高齢者が家族と全く接触していない。

平均時間は、子供が同一敷地内に住んでいる場合で4時間27分、近所に住んでいる場合で4時間12分、同一市町村内に住んでいる場合で4時間29分、他の地域に住んでいる場合で5時間29分となっている。

また、一人でいた時間は、子供が同一敷地内に住んでいる場合で19時間18分（睡眠時間8時間36分を含む。）、近所に住んでいる場合で20時間2分（同8時間30分）、同一市町村内の場合で、20時間45分（同8時間32分）、他の地域の場合で20時間54分（同8時間28分）と、子供と離れて住むほど一人で過ごす時間が長くなっている。（表5-12）

表5 - 12 子の有無，子の居住地，一緒にいた人別生活時間（65歳以上） - 週全体

(時間・分，%)

	一人で				家族		学校・職場の人		その他の人	
			睡眠							
	行動者 平均 時間	行動 者率	行動者 平均 時間	行動 者率	行動者 平均 時間	行動 者率	行動者 平均 時間	行動 者率	行動者 平均 時間	行動 者率
65歳以上	14.54	100.0	8.30	100.0	8.29	83.7	6.00	9.0	3.53	35.4
うち単身世帯	20.36	100.0	8.27	99.9	4.53	15.9	6.24	7.6	3.44	51.4
子はいない	20.56	100.0	8.17	99.7	4.22	5.8	6.45	10.7	3.39	51.3
子がいる	20.31	100.0	8.29	100.0	4.57	18.8	6.10	6.7	3.46	51.4
同一敷地内	19.18	100.0	8.36	100.0	4.27	43.7	6.00	8.3	4.00	46.8
近所	20.02	100.0	8.30	100.0	4.12	28.8	6.23	6.3	4.01	53.4
同一市町村	20.45	100.0	8.32	100.0	4.29	17.5	6.10	6.7	3.41	51.6
他の地域	20.54	100.0	8.28	100.0	5.29	9.9	6.19	6.3	3.45	52.7
高齢者夫婦世帯	13.21	100.0	8.18	100.0	9.01	97.0	6.07	10.1	3.52	34.3
子はいない	13.08	100.0	8.21	100.0	9.19	97.1	6.33	7.0	3.57	31.7
子がいる	13.22	100.0	8.18	100.0	9.00	97.0	6.06	10.3	3.51	34.5
同一敷地内	13.31	100.0	8.26	100.0	8.52	96.7	5.48	10.1	3.52	34.9
近所	13.08	100.0	8.20	100.0	9.14	97.9	5.25	10.5	4.01	35.3
同一市町村	13.16	100.0	8.16	100.0	8.54	97.4	6.28	11.9	3.51	35.8
他の地域	13.27	100.0	8.17	100.0	8.59	96.7	5.55	9.4	3.52	33.9

高齢者夫婦世帯・・・夫婦のみの世帯のうち，夫が65歳以上，妻が60歳以上の世帯

(4) 在学者の生活時間

睡眠時間の短い高校3年生

10歳以上の在学者の生活時間を10歳以上の全体の平均と比較すると，1次活動時間はいずれも10時間36分となっているが，2次活動時間は，在学者が6時間23分と，全体の平均6時間56分に比べて33分短く，3次活動時間は，在学者が7時間1分と，全体の平均6時間28分に比べて33分長くなっている。(表5 - 13)

表5 - 13 在学者の生活時間 - 週全体

(時間・分)

	10歳以上					
	総数			在学者		
	総数	男	女	総数	男	女
1次活動	10.36 (0.01)	10.30 (0.01)	10.42 (0.02)	10.36 (-0.03)	10.28 (-0.07)	10.45 (0.01)
睡眠	7.45 (-0.02)	7.52 (-0.03)	7.38 (-0.02)	8.04 (-0.05)	8.08 (-0.07)	8.00 (-0.03)
身の回りの用事	1.13 (0.04)	1.02 (0.04)	1.23 (0.04)	1.06 (0.02)	0.57 (0.02)	1.16 (0.03)
食事	1.38 (-0.01)	1.36 (0.01)	1.41 (-0.01)	1.26 (0.00)	1.24 (0.00)	1.28 (0.00)
2次活動	6.56 (-0.17)	6.51 (-0.19)	7.01 (-0.16)	6.23 (-0.01)	6.13 (-0.01)	6.34 (0.00)
通勤・通学	0.31 (-0.02)	0.41 (-0.02)	0.22 (-0.01)	0.52 (0.01)	0.51 (0.01)	0.52 (0.00)
仕事	3.39 (-0.15)	4.56 (-0.17)	2.27 (-0.11)	0.31 (0.04)	0.35 (0.06)	0.26 (0.00)
学業	0.40 (-0.04)	0.43 (-0.05)	0.37 (-0.04)	4.37 (-0.05)	4.32 (-0.08)	4.42 (-0.03)
家事	1.25 (-0.01)	0.13 (0.03)	2.34 (-0.03)	0.09 (0.00)	0.05 (0.00)	0.14 (0.00)
介護・看護	0.03 (0.00)	0.01 (0.00)	0.05 (0.00)	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	0.01 (0.01)
育児	0.13 (0.02)	0.03 (0.01)	0.22 (0.03)	0.01 (0.01)	0.00 (0.00)	0.01 (0.00)
買い物	0.24 (0.02)	0.14 (0.03)	0.33 (0.00)	0.13 (0.00)	0.10 (0.01)	0.17 (0.00)
3次活動	6.28 (0.16)	6.39 (0.18)	6.17 (0.14)	7.01 (0.04)	7.19 (0.08)	6.41 (-0.01)
移動(通勤・通学を除く)	0.32 (0.08)	0.32 (0.07)	0.33 (0.09)	0.27 (0.03)	0.27 (0.04)	0.28 (0.04)
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.32 (-0.01)	2.38 (0.01)	2.26 (-0.03)	1.56 (-0.15)	2.00 (-0.15)	1.52 (-0.14)
休養・くつろぎ	1.20 (0.05)	1.19 (0.06)	1.21 (0.04)	1.33 (0.09)	1.33 (0.12)	1.34 (0.06)
学習・研究(学業以外)	0.14 (0.02)	0.14 (0.02)	0.13 (0.01)	0.50 (0.05)	0.46 (0.07)	0.54 (0.03)
趣味・娯楽	0.42 (0.06)	0.50 (0.08)	0.35 (0.05)	0.55 (0.08)	1.07 (0.08)	0.42 (0.08)
スポーツ	0.13 (0.00)	0.16 (-0.01)	0.10 (0.00)	0.31 (-0.04)	0.39 (-0.04)	0.23 (-0.02)
ボランティア活動・社会参加活動	0.04 (0.00)	0.04 (0.00)	0.05 (0.01)	0.03 (0.01)	0.03 (0.01)	0.02 (0.00)
交際・付き合い	0.26 (-0.01)	0.25 (-0.02)	0.27 (0.00)	0.28 (-0.01)	0.29 (-0.01)	0.27 (-0.01)
受診・療養	0.08 (0.01)	0.07 (0.01)	0.10 (0.02)	0.03 (0.00)	0.03 (0.00)	0.03 (0.00)
その他	0.16 (-0.04)	0.14 (-0.03)	0.18 (-0.04)	0.15 (-0.03)	0.12 (-0.03)	0.17 (-0.04)

()内は平成8年との増減

1次活動時間を、在学する学校の種類別にみると、小学生は11時間36分、中学生は10時間37分、高校生は10時間4分、短大・高専及び大学・大学院の学生は10時間24分と、小学生が最も長く、高校生が最も短くなっている。特に高校3年生は、1次活動時間が9時間56分と短く、このうち睡眠時間も、7時間29分と在学者全体を通じて最も短くなっている。

これを男女別にみると、在学者の睡眠時間は全体の平均と同様に男性の方が長くなっているが、全体の平均の差14分に比べて小さく、特に小学生では2分の差となっている。

また、在学者の「身の回りの用事」の時間は女性の方が長くなっており、特に短大・高専及び大学・大学院の学生は、女性の方が30分以上長くなっている。

平成8年と比較すると、在学者の睡眠時間は5分減少している。特に高校生では9分の減少と、全体の平均の2分の減少に比べて減少幅が大きくなっている。(表5-13, 表5-14)

表5-14 学校の種類別1次活動時間(在学者) - 週全体

(時間・分)

	小学校 (10歳以上)	中学校	3年生	高校	3年生	短大・高専	大学・大学院
	総数						
1次活動	11.36 (0.00)	10.37 (-0.01)	10.28 (-0.02)	10.04 (-0.06)	9.56 (-0.03)	10.24 (-0.02)	10.24 (-0.02)
睡眠	9.00 (-0.03)	8.08 (-0.03)	8.00 (-0.04)	7.34 (-0.09)	7.29 (-0.05)	7.41 (-0.02)	7.53 (-0.02)
身の回りの用事	1.03 (0.04)	1.03 (0.02)	1.05 (0.04)	1.06 (0.01)	1.03 (0.00)	1.16 (-0.02)	1.08 (-0.01)
食事	1.34 (-0.01)	1.26 (0.00)	1.24 (-0.01)	1.23 (0.01)	1.24 (0.02)	1.27 (0.03)	1.22 (0.00)
男							
1次活動	11.32 (-0.01)	10.35 (-0.03)	10.30 (-0.01)	9.57 (-0.10)	9.45 (-0.09)	10.05 (-0.02)	10.09 (-0.08)
睡眠	9.01 (-0.04)	8.15 (-0.04)	8.10 (-0.06)	7.39 (-0.12)	7.30 (-0.13)	7.50 (0.02)	7.55 (-0.05)
身の回りの用事	0.59 (0.04)	0.56 (0.02)	0.57 (0.05)	0.57 (0.02)	0.53 (0.01)	0.57 (-0.02)	0.56 (-0.02)
食事	1.33 (-0.01)	1.25 (-0.01)	1.23 (0.00)	1.21 (0.00)	1.22 (0.03)	1.19 (0.00)	1.19 (0.00)
女							
1次活動	11.41 (0.02)	10.38 (0.00)	10.27 (-0.02)	10.12 (-0.02)	10.09 (0.05)	10.36 (0.02)	10.48 (0.03)
睡眠	8.59 (-0.02)	8.01 (-0.02)	7.49 (-0.02)	7.30 (-0.06)	7.28 (0.02)	7.38 (-0.03)	7.51 (0.06)
身の回りの用事	1.07 (0.05)	1.10 (0.02)	1.13 (0.02)	1.17 (0.03)	1.15 (0.01)	1.27 (0.00)	1.29 (-0.01)
食事	1.35 (-0.01)	1.26 (-0.01)	1.24 (-0.03)	1.25 (0.01)	1.26 (0.02)	1.31 (0.04)	1.28 (-0.01)

()内は平成8年との増減

学業時間の長い中学生と高校生

在学者の2次活動時間をみると、小学生は5時間33分、中学生は6時間19分、高校生は7時間1分、短大・高専の学生は7時間、大学・大学院の学生は6時間11分と、高校生が最も長く、小学生が最も短くなっている。

2次活動時間のうち、学業時間（学校の授業やそれに関連した学習活動）をみると、小学生、中学生及び高校生の2次活動時間のほとんどを占めており、小学生が4時間41分、中学生が5時間26分、高校生が5時間21分、短大・高専の学生が3時間5分、大学・大学院の学生が2時間59分と、中学生、高校生は長く、短大・高専及び大学・大学院の学生は小学生よりも短くなっている。また、中学3年生及び高校3年生の学業時間は5時間51分と、中学生、高校生の中でも特に長くなっている。

学業時間を男女別にみると、小学生、中学生、高校生及び大学・大学院の学生では女性が長いですが、短大・高専の学生では男性が長くなっている。

また、学業時間を平成8年と比較すると、在学者全体では5分減少しているが、中学3年生では10分増加している。（表5-13、表5-15）

仕事時間の増加した高校、短大・高専及び大学・大学院の学生

学業時間以外の2次活動時間をみると、仕事時間は、高校生が17分、短大・高専の学生が1時間46分、大学・大学院の学生が1時間33分となっており、平成8年と比べていずれも増加している。

また、家事関連時間は、小学生、中学生及び高校生が15分前後、短大・高専の学生が1時間6分、大学・大学院の学生が40分となっており、これを男女別にみると、短大・高専の学生を除いて、女性が男性の約2倍となっており、その差は上級学校になるほど大きくなっている。

なお、短大・高専の女性の家事関連時間は、2時間28分と際立って長くなっている。

（表5-15）

表5-15 学校の種類別2次活動時間（在学者）-週全体

（時間・分）

	小学校 (10歳以上)	中学校	3年生	高校	3年生	短大・高専	大学・大学院
	総数						
2次活動	5.33 (-0.01)	6.19 (-0.09)	6.47 (0.07)	7.01 (-0.01)	7.30 (0.00)	7.00 (0.20)	6.11 (0.08)
通勤・通学	0.35 (0.00)	0.39 (0.01)	0.38 (0.00)	1.06 (0.02)	1.06 (0.03)	1.04 (0.00)	1.01 (-0.01)
仕事	0.00 (-0.03)	0.01 (-0.02)	0.02 (-0.02)	0.17 (0.02)	0.18 (0.03)	1.46 (0.12)	1.33 (0.04)
学業	4.41 (0.01)	5.26 (-0.03)	5.51 (0.10)	5.21 (-0.02)	5.51 (-0.03)	3.05 (-0.04)	2.59 (0.02)
家事関連時間	0.15 (-0.01)	0.14 (-0.02)	0.16 (-0.01)	0.16 (-0.03)	0.15 (-0.03)	1.06 (0.13)	0.40 (0.05)
男							
2次活動	5.25 (-0.02)	6.09 (-0.13)	6.38 (0.06)	6.48 (-0.03)	7.25 (0.02)	6.57 (0.37)	6.06 (0.08)
通勤・通学	0.35 (0.01)	0.38 (0.01)	0.37 (0.02)	1.05 (0.01)	1.05 (0.04)	1.07 (-0.01)	1.00 (-0.01)
仕事	0.00 (-0.03)	0.01 (-0.02)	0.02 (-0.02)	0.16 (0.04)	0.17 (0.04)	2.11 (0.31)	1.44 (0.10)
学業	4.37 (0.00)	5.21 (-0.08)	5.48 (0.08)	5.16 (-0.06)	5.53 (-0.04)	3.18 (0.03)	2.56 (-0.04)
家事関連時間	0.12 (-0.01)	0.09 (-0.04)	0.11 (-0.02)	0.10 (-0.02)	0.10 (-0.01)	0.22 (0.06)	0.26 (0.04)
女							
2次活動	5.41 (0.00)	6.30 (-0.03)	6.55 (0.07)	7.14 (0.00)	7.35 (-0.04)	7.00 (0.10)	6.20 (0.07)
通勤・通学	0.36 (0.01)	0.40 (0.00)	0.39 (-0.01)	1.07 (0.02)	1.06 (0.01)	1.01 (-0.01)	1.02 (-0.03)
仕事	0.00 (-0.02)	0.01 (-0.03)	0.01 (-0.03)	0.18 (0.00)	0.18 (0.01)	1.34 (0.02)	1.15 (-0.04)
学業	4.45 (0.02)	5.32 (0.02)	5.54 (0.12)	5.27 (0.02)	5.48 (-0.03)	2.57 (-0.09)	3.04 (0.13)
家事関連時間	0.19 (-0.02)	0.17 (-0.03)	0.20 (-0.02)	0.22 (-0.03)	0.22 (-0.04)	2.28 (0.19)	1.00 (0.02)

（ ）内は平成8年との増減

趣味・娯楽時間の長い大学・大学院の学生

在学者の3次活動時間をみると、小学生が6時間51分、中学生が7時間4分、高校生が6時間55分、短大・高専の学生が6時間36分、大学・大学院の学生が7時間25分と、大学・大学院の学生が最も長く、短大・高専の学生が最も短くなっている。

3次活動時間のうち、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間は、2時間程度であり差はないが、「休養・くつろぎ」の時間は、小学生、中学生及び高校生に比べて、短大・高専及び大学・大学院の学生は10分程度短くなっている。「学習・研究」の時間は中学生が1時間5分と最も長く、次いで高校生が59分となっており、「趣味・娯楽」の時間は、中学生が46分と最も短く、大学・大学院の学生が1時間12分と最も長くなっている。「スポーツ」の時間は、小学生が37分、中学生が48分、高校生が27分と、中学生が最も長くなっているが、中学3年生では13分と短くなっている。「交際・付き合い」の時間は、中学生が15分と最も短く、大学・大学院の学生が53分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、「趣味・娯楽」の時間は、小学生、中学生及び高校生で20分程度、短大・高専及び大学・大学院の学生で40分程度、それぞれ男性の方が長くなっており、「スポーツ」の時間も、男性の方が長く、特に小学生、中学生及び高校生では20分程度長くなっている。また、「学習・研究」の時間は在学者全体を通じて女性の方が長くなっている。

平成8年と比較すると、「スポーツ」の時間は、短大・高専の学生を除いてわずかに減少しており、特に高校生では7分減少している。一方、「趣味・娯楽」の時間は、在学者全体を通じて増加している。(表5-16)

表5-16 学校の種類別3次活動時間(在学者) - 週全体

(時間・分)

	小学校 (10歳以上)	中学校	3年生	高校	3年生	短大・高専	大学・大学院
	総数						
3次活動	6.51 (0.01)	7.04 (0.10)	6.45 (-0.05)	6.55 (0.07)	6.34 (0.03)	6.36 (-0.18)	7.25 (-0.06)
移動(通勤・通学を除く)	0.26 (0.08)	0.20 (0.04)	0.19 (0.02)	0.22 (0.01)	0.21 (0.00)	0.38 (0.04)	0.42 (-0.01)
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.01 (-0.11)	1.55 (-0.14)	1.59 (-0.15)	1.55 (-0.15)	1.48 (-0.19)	1.59 (-0.18)	1.55 (-0.15)
休養・くつろぎ	1.34 (0.11)	1.37 (0.09)	1.38 (0.03)	1.38 (0.12)	1.37 (0.13)	1.25 (0.06)	1.24 (0.05)
学習・研究(学業以外)	0.37 (-0.06)	1.05 (0.06)	1.15 (0.00)	0.59 (0.14)	1.13 (0.17)	0.24 (-0.03)	0.38 (0.04)
趣味・娯楽	0.56 (0.04)	0.46 (0.10)	0.46 (0.11)	0.50 (0.08)	0.44 (0.03)	0.57 (0.08)	1.12 (0.03)
スポーツ	0.37 (-0.01)	0.48 (-0.03)	0.13 (-0.04)	0.27 (-0.07)	0.09 (-0.02)	0.09 (0.03)	0.17 (-0.03)
ボランティア活動・社会参加活動	0.04 (0.01)	0.02 (0.01)	0.02 (0.01)	0.01 (0.00)	0.01 (0.00)	0.02 (0.00)	0.04 (0.01)
交際・付き合い	0.21 (0.00)	0.15 (0.00)	0.17 (0.00)	0.26 (-0.01)	0.27 (-0.02)	0.38 (-0.17)	0.53 (0.01)
受診・療養	0.03 (0.00)	0.03 (0.01)	0.02 (0.01)	0.04 (0.01)	0.02 (-0.01)	0.02 (-0.01)	0.03 (0.00)
その他	0.13 (-0.04)	0.13 (-0.03)	0.13 (-0.05)	0.13 (-0.05)	0.12 (-0.07)	0.21 (-0.01)	0.17 (-0.02)
男							
3次活動	7.03 (0.03)	7.16 (0.17)	6.52 (-0.05)	7.15 (0.13)	6.51 (0.08)	6.57 (-0.36)	7.45 (0.00)
移動(通勤・通学を除く)	0.27 (0.09)	0.20 (0.04)	0.20 (0.04)	0.21 (0.01)	0.20 (0.01)	0.31 (-0.03)	0.39 (-0.02)
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	1.58 (-0.13)	1.57 (-0.13)	2.02 (-0.16)	2.00 (-0.15)	1.49 (-0.26)	2.12 (-0.25)	2.05 (-0.15)
休養・くつろぎ	1.32 (0.14)	1.35 (0.10)	1.34 (0.00)	1.38 (0.14)	1.41 (0.19)	1.21 (0.01)	1.26 (0.08)
学習・研究(学業以外)	0.33 (-0.04)	0.57 (0.04)	1.05 (-0.04)	0.57 (0.17)	1.12 (0.22)	0.24 (0.01)	0.36 (0.07)
趣味・娯楽	1.04 (-0.02)	0.55 (0.12)	0.56 (0.13)	1.00 (0.07)	0.52 (-0.01)	1.29 (0.21)	1.27 (0.08)
スポーツ	0.49 (-0.01)	0.59 (-0.01)	0.20 (-0.02)	0.37 (-0.07)	0.13 (-0.01)	0.09 (0.00)	0.17 (-0.06)
ボランティア活動・社会参加活動	0.04 (0.01)	0.02 (0.01)	0.02 (0.01)	0.01 (0.00)	0.01 (-0.01)	0.02 (0.00)	0.04 (0.01)
交際・付き合い	0.20 (0.00)	0.16 (0.00)	0.18 (-0.01)	0.27 (-0.01)	0.30 (0.01)	0.34 (-0.27)	0.55 (0.02)
受診・療養	0.03 (0.00)	0.03 (0.00)	0.02 (0.01)	0.04 (0.01)	0.03 (0.00)	0.03 (0.00)	0.02 (0.00)
その他	0.13 (-0.01)	0.12 (-0.01)	0.12 (-0.02)	0.11 (-0.05)	0.10 (-0.08)	0.13 (-0.05)	0.14 (-0.03)
女							
3次活動	6.39 (-0.01)	6.52 (0.04)	6.39 (-0.04)	6.33 (0.01)	6.16 (-0.01)	6.24 (-0.12)	6.52 (-0.11)
移動(通勤・通学を除く)	0.25 (0.07)	0.19 (0.02)	0.19 (0.02)	0.24 (0.01)	0.22 (0.00)	0.42 (0.07)	0.47 (0.00)
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.03 (-0.11)	1.54 (-0.13)	1.55 (-0.16)	1.49 (-0.15)	1.47 (-0.11)	1.51 (-0.16)	1.38 (-0.12)
休養・くつろぎ	1.36 (0.08)	1.39 (0.07)	1.42 (0.05)	1.38 (0.09)	1.33 (0.08)	1.25 (0.07)	1.20 (0.00)
学習・研究(学業以外)	0.42 (-0.07)	1.13 (0.08)	1.26 (0.05)	1.02 (0.12)	1.13 (0.11)	0.26 (-0.03)	0.41 (-0.03)
趣味・娯楽	0.47 (0.09)	0.36 (0.08)	0.35 (0.09)	0.39 (0.09)	0.34 (0.06)	0.42 (0.01)	0.49 (0.01)
スポーツ	0.25 (0.01)	0.36 (-0.06)	0.07 (-0.06)	0.17 (-0.07)	0.05 (-0.03)	0.08 (0.03)	0.16 (0.03)
ボランティア活動・社会参加活動	0.04 (0.01)	0.02 (0.01)	0.03 (0.02)	0.01 (0.00)	0.01 (0.00)	0.03 (0.01)	0.04 (0.01)
交際・付き合い	0.21 (-0.02)	0.14 (0.00)	0.17 (0.03)	0.24 (-0.03)	0.23 (-0.07)	0.41 (-0.11)	0.51 (0.01)
受診・療養	0.02 (-0.02)	0.03 (0.01)	0.02 (0.01)	0.04 (0.01)	0.01 (-0.02)	0.02 (-0.01)	0.04 (0.01)
その他	0.14 (-0.06)	0.15 (-0.05)	0.14 (-0.07)	0.15 (-0.06)	0.15 (-0.05)	0.24 (0.00)	0.23 (-0.02)

()内は平成8年との増減

学校のない土曜日には、小学生、中学生は3次活動、高校生は1次活動

小学生、中学生及び高校生について、学校のない土曜日と学校のある土曜日の生活時間を比較すると、小学生では、学校のない土曜日の方が、2次活動時間が3時間3分短く、逆に1次活動時間が32分、3次活動時間が2時間30分長くなっている。内訳をみると、学業時間が2時間46分、通勤・通学時間が31分短くなる一方、睡眠時間が34分、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が1時間3分、「趣味・娯楽」の時間が41分、「スポーツ」の時間が17分、家事関連時間が15分長くなっている。

中学生では、学校のない土曜日の方が、2次活動時間が3時間25分短く、逆に1次活動時間が54分、3次活動時間が2時間30分長くなっている。内訳をみると、学業時間が3時間3分、通勤・通学時間が37分短くなる一方、睡眠時間が1時間、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が53分、「趣味・娯楽」の時間が36分、家事関連時間と移動時間(通勤・通学を除く)が18分、「休養・くつろぎ」の時間が14分長くなっている。

高校生では、学校のない土曜日の方が、2次活動時間が3時間48分短く、逆に1次活動時間が1時間58分、3次活動時間が1時間50分長くなっている。内訳をみると、学業時間が2時間53分、通勤・通学時間が1時間2分短くなる一方、睡眠時間が1時間57分、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が1時間4分、「趣味・娯楽」の時間が33分、「交際・付き合い」の時間が18分、家事関連時間が16分長くなっている。(表5-17)

表5-17 「学校のある日・ない日」別生活時間(在学者) - 土曜日

(時間・分)

	学校のある土曜日			学校のない土曜日		
	小学校 (10歳 以上)	中学校	高校	小学校 (10歳 以上)	中学校	高校
1次活動	11.22	10.32	9.50	11.54	11.26	11.48
睡眠	8.44	8.00	7.22	9.18	9.00	9.19
身の回りの用事	1.03	1.04	1.05	0.58	0.58	1.04
食事	1.34	1.28	1.22	1.39	1.29	1.26
2次活動	4.43	5.33	6.30	1.40	2.08	2.42
通勤・通学	0.40	0.44	1.13	0.09	0.07	0.11
仕事	0.00	0.01	0.26	0.00	0.01	0.18
学業	3.41	4.30	4.33	0.55	1.27	1.40
家事関連時間	0.20	0.17	0.18	0.35	0.35	0.34
3次活動	7.56	7.55	7.40	10.26	10.25	9.30
移動(通勤・通学を除く)	0.30	0.25	0.32	0.42	0.43	0.38
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.13	2.08	2.00	3.16	3.01	3.04
休養・くつろぎ	1.31	1.34	1.37	1.26	1.48	1.35
学習・研究(学業以外)	0.31	1.01	0.54	0.33	1.12	0.50
趣味・娯楽	1.15	0.54	0.57	1.56	1.30	1.30
スポーツ	0.51	1.06	0.45	1.08	1.17	0.34
ボランティア活動・社会参加活動	0.07	0.05	0.02	0.06	0.05	0.03
交際・付き合い	0.37	0.24	0.36	0.49	0.28	0.54
受診・療養	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03
その他	0.17	0.17	0.15	0.27	0.18	0.18

学校のない土曜日の生活時間を平成8年と比較すると、小学生では、1次活動時間が13分、3次活動時間が12分減少する一方、2次活動時間が25分増加している。内訳をみると、睡眠時間が13分、「休養・くつろぎ」の時間が11分、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が10分減少する一方、学業時間が17分、移動時間が9分、通勤・通学時間と「趣味・娯楽」の時間が6分増加している。

中学生では、1次活動時間が10分減少する一方、2次活動時間が8分、3次活動時間が2分増加している。内訳をみると、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が31分、「交際・付き合い」の時間が17分、家事関連時間が7分、睡眠時間が6分減少する一方、「学習・研究」の時間が18分、「スポーツ」の時間が15分、学業時間が14分、移動時間と「趣味・娯楽」の時間が7分増加している。

高校生では、3次活動時間が26分減少する一方、1次活動時間が22分、2次活動時間が3分増加している。内訳をみると、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が21分、家事関連時間が15分、「スポーツ」の時間が12分、「交際・付き合い」の時間が10分減少する一方、睡眠時間が21分、学業時間が15分、「学習・研究」の時間が14分、「趣味・娯楽」の時間が10分増加している。(表5-18)

表5-18 学校のない土曜日の生活時間(在学者)

	(時間・分)					
	平成8年			平成13年		
	小学校 (10歳 以上)	中学校	高校	小学校 (10歳 以上)	中学校	高校
1次活動	12.07	11.36	11.26	11.54	11.26	11.48
睡眠	9.31	9.06	8.58	9.18	9.00	9.19
身の回りの用事	0.55	0.59	1.02	0.58	0.58	1.04
食事	1.42	1.31	1.26	1.39	1.29	1.26
2次活動	1.15	2.00	2.39	1.40	2.08	2.42
通勤・通学	0.03	0.06	0.10	0.09	0.07	0.11
仕事	0.02	0.01	0.15	0.00	0.01	0.18
学業	0.38	1.13	1.25	0.55	1.27	1.40
家事関連時間	0.31	0.42	0.49	0.35	0.35	0.34
3次活動	10.38	10.23	9.56	10.26	10.25	9.30
移動(通勤・通学を除く)	0.33	0.36	0.40	0.42	0.43	0.38
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	3.26	3.32	3.25	3.16	3.01	3.04
休養・くつろぎ	1.37	1.42	1.35	1.26	1.48	1.35
学習・研究(学業以外)	0.39	0.54	0.36	0.33	1.12	0.50
趣味・娯楽	1.50	1.23	1.20	1.56	1.30	1.30
スポーツ	1.04	1.02	0.46	1.08	1.17	0.34
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.03	0.01	0.06	0.05	0.03
交際・付き合い	0.50	0.45	1.04	0.49	0.28	0.54
受診・療養	0.03	0.04	0.02	0.03	0.03	0.03
その他	0.30	0.23	0.26	0.27	0.18	0.18

上級学校ほど、家族と一緒にいた時間は短く、一人でいた時間は長い

一緒にいた人（複数回答）別に在学者の生活時間を10歳以上の全体の平均と比較すると、平日では、在学者が一人でいた時間は11時間34分（睡眠時間7時間48分を含む。）と、全体の平均に比べて1時間5分短くなっている。家族と一緒にいた時間のある在学者は、86.1%と全体に比べてあまり差はないが、その平均時間は4時間14分と全体に比べて1時間56分短く、学校・職場の人と一緒にいた時間のある在学者は、92.0%と全体に比べ36.2ポイント高くなっているが、逆にその平均時間は8時間35分と15分短くなっている。

これを学校の種類別にみると、一人でいた時間は、小学生が10時4分（睡眠時間8時間53分を含む。）と最も短く、上級学校になるほど長くなり、大学・大学院の学生が13時間58分（同7時間38分）と最も長くなっている。一方、家族と一緒にいた時間のある在学者は、小学生、中学生及び高校生ではいずれも95%を超えているが、短大・高専の学生は63.9%、大学・大学院の学生は52.6%と低くなっており、その平均時間も、小学生が5時間7分と最も長く、大学・大学院の学生が3時間25分と最も短くなっている。

学校・職場の人と一緒にいた時間のある在学者は、小学生、中学生及び高校生では95%前後、短大・高専の学生は85.3%、大学・大学院の学生は82.2%となっており、その平均時間は、中学生が8時間58分と最も長く、大学・大学院生が8時間1分と最も短くなっている。その他の人と一緒にいた時間のある在学者は、小学生が32.9%と最も高く、高校生が21.1%と最も低くなっているが、その平均時間は、小学生が2時間1分と最も短く、大学・大学院の学生では4時間34分と上級学校になるほど長くなっている。

このように、上級学校になるほど家族と一緒にいた時間が短くなり、一人であるいはその他の人と一緒にいた時間が長くなる傾向がみられる。

次に、日曜日についてみると、一人でいた時間は、最も短い小学生で11時間18分（睡眠時間9時間38分を含む。）、最も長い大学・大学院の学生で15時間33分（同8時間40分）と、平日に比べ、1時間以上長く、特に高校生では3時間3分長くなっている。

家族と一緒にいた時間は、最も長い小学生で9時間54分、最も短い大学・大学院の学生で4時間58分と、平日に比べ、小学生では4時間47分、中学生では3時間14分、大学・大学院の学生でも1時間33分長くなっている。（表5 - 19）

表5 - 19 曜日、学校の種類、一緒にいた人別生活時間（在学者）

（時間・分，％）

		一人で				家族		学校・職場の人		その他の人	
				睡眠							
		行動者 平均 時間	行動者 率	行動者 平均 時間	行動者 率	行動者 平均 時間	行動者 率	行動者 平均 時間	行動者 率	行動者 平均 時間	行動者 率
平日	10歳以上	12.39	100.0	7.35	99.9	6.10	85.8	8.50	55.8	3.41	30.6
	うち在学者	11.34	100.0	7.48	100.0	4.14	86.1	8.35	92.0	2.59	27.5
	小学	10.04	100.0	8.53	100.0	5.07	98.5	8.36	95.9	2.01	32.9
	中学	10.32	100.0	7.53	100.0	4.18	97.8	8.58	95.3	2.33	27.6
	高校	11.38	100.0	7.12	100.0	3.49	95.6	8.34	94.8	2.45	21.1
	短大・高専	12.41	100.0	7.19	99.8	4.14	63.9	8.26	85.3	3.43	32.8
	大学・大学院	13.58	100.0	7.38	99.9	3.25	52.6	8.01	82.2	4.34	28.9
日曜日	10歳以上	13.21	100.0	8.26	100.0	8.42	85.8	7.12	19.7	5.30	36.5
	うち在学者	13.44	100.0	9.07	100.0	7.12	85.3	6.43	37.8	5.41	35.0
	小学	11.18	100.0	9.38	100.0	9.54	99.0	5.26	31.7	5.45	42.8
	中学	13.01	100.0	9.15	100.0	7.32	98.3	6.17	39.6	5.04	30.6
	高校	14.41	100.0	9.06	99.9	5.55	93.2	6.52	35.0	5.09	28.9
	短大・高専	14.06	100.0	8.40	100.0	6.15	70.2	7.15	41.1	6.21	39.9
	大学・大学院	15.33	100.0	8.40	99.9	4.58	50.9	7.44	43.8	6.28	39.6